

2009年12月18日

各位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表取締役社長 梅村 充
(コード番号:7951 東証第一部)
問い合わせ先 広報部広報グループ
(TEL. 03 - 5488 - 6601)

国内の管楽器生産拠点統合方針の決定について

2013年春の完了を目処に順次実施

当社は、本日開催の取締役会において、国内に2拠点ある管楽器生産工場のひとつである埼玉工場（埼玉県ふじみ野市）を、豊岡工場（静岡県磐田市）に移転統合する方針を決定しました。

今後、2013年春の完了を目処に豊岡工場への機能集約を順次実施し、製造改革を促進させ、管楽器事業の持続的な発展のための拠点整備を行う計画です。

当社の管楽器国内生産は、フレンチホルン、チューバなどの中低音金管楽器を生産する埼玉工場と、それ以外の管楽器全般を生産する主力生産拠点である豊岡管楽器工場の2拠点体制を維持してまいりました。

今回の統合方針の決定は、世界の管楽器市場環境の変化を踏まえて、管楽器の国内生産拠点統合による効率化と、コスト競争力の強化を主な狙いとしています。当社は今回の統合で、生産構造改革を更に推進し、海外生産拠点も含めた一層の競争力の強化を進め、管楽器事業の持続的な発展を目指していきます。

統合日程としては、2つのフェーズに分け実施する計画で、第1フェーズでは2010年春から2011年にかけて埼玉工場の前工程作業を豊岡工場に移転するとともに、製品本体生産工程の豊岡工場受け入れスペース確保のためのレイアウト作業を実施します。第2フェーズでは、製品本体の製造部門及び管理部門の豊岡への移転を実施し、2013年春を目処に統合を完了する予定です。今回の拠点統合に伴う投資等の費用は約20億円を予定しています。

今回の国内管楽器生産拠点統合の概要は以下の通りです。

1. 豊岡工場への埼玉工場工程統合スケジュール

- ・第1フェーズ : 埼玉工場前工程移転 2011年3月までに移転
対象人員約20名
- ・第2フェーズ : 埼玉工場製品本体生産工程及び管理部門 2013年3月までに移転
対象人員約150名

社員については、原則豊岡工場への配置転換で対応する方針です。

2. 統合拠点の概要

埼玉工場

- 所在地 : 埼玉県ふじみ野市大井中央 2-20-3
- 事業内容 : フレンチホルン、ユーフォニアム、チューバ、スーザフォン等の生産
アトリエ埼玉（同工場敷地内）におけるアーティスト向け上記管楽器の
メンテナンス、サービス
- 人員数 : 約170人（スタッフ部門含む）
- 面積 : 約18,000㎡

豊岡工場

- 所在地 : 静岡県磐田市松ノ木島 203
- 事業内容 : 管楽器、電子楽器、PA機器の製造、研究開発
- 人員数 : 約1,400人
- 面積 : 約182,000㎡

3. 本決定が業績に与える影響

本決定による今期の業績予想に与える影響はありません。

以上